



校長室より

ゆめづくり かなえる学校に

松山市立湯築小学校長 横田 美佳

昨日は、令和7年7月7日。その数字に何かよいことがありそうな予感がして、それだけでうれしい一日でした。7という数字には幸福のイメージがあり、その由来をスマートフォンで検索すると、野球や宗教にまつわるものなどがたくさん出てきました。

ところで、7と言えば、本校にも、そのラッキーセブンにちなんだものがあります。そうです。「ななゆめ会」と「七つのキャラクター」です。湯築っ子にとってもおなじみのこの二つの七（なな）」は、いつごろからあるものなのでしょう。校長室にあった資料で調べてみると、創立五十周年記念誌「夢めざし いのち輝かせ」にその答えがありました。平成9年、「学校は子どもたちの手でつくるもの」という考えから、児童会でも、湯築小をどんな学校にしたいか、みんなのゆめを集めて学校をつくっていこうと話したそうです。まず、「ゆづき児童会」を「ななゆめ会」と改称し、各クラスから出て来たゆめを集めて代表委員会で話し合い、「ゆづきの七つのゆめ」をつくりました。「やさしい心をもとう・明るいあいさつをしよう・元気に遊ぼう・自分の考えをもとう・緑いっぱいになろう・学校のゴミをゼロになろう・みんなで仲よく協力しよう」です。その七つのゆめをより身近なものになろうと、「ななゆめ会の旗」も作成されました。そして、平成10年度の「ななゆめ会」が、旗にある「七つのキャラクター」と「ゆづきの七つのゆめ」をリンクさせてはどうかと提案し、今のようなキャラクターが完成したのだそうです。そうすると、ななゆめくんは、今年で27歳になるのですね。もしかしたら、保護者の方の中にも、キャラクターの誕生時に湯築っ子として在籍していた方がおられるのではないのでしょうか。当時から、「学校は子どもたちの手でつくるもの」という学校観のもと、教育活動を推進されていた先輩方の豊かな取組に尊敬の念を覚えます。

さて、令和7年度の第1学期も、残すところあと数日となりました。この1学期も、様々な行事や活動場面で輝く湯築っ子の姿に、「ここロン・あいさツン・あそボー・かんがエール・みどりボン・ごみッキー・なかよクリン」が重なって見えました。「ななゆめ会」と「七つのキャラクター」の誕生秘話を知り、湯築小学校をどんな学校にしたいか、現在434名の児童のゆめを集めて考え、かなえていきたいと決意を新たにしました。

プール開き・水泳部



6年生がピカピカにしてくれたプールで、水泳学習が始まりました。冷たいプールで暑さを吹き飛ばし、自分の目標を達成するために一生懸命取り組んでいます♪

放課後には、7月22日（火）に行われる水泳総体に向け、水泳部が練習に励んでいます。

人権参観日

浅沼さんは湯築小学校まで来てくれたのがすごいと思いました。目が見えないけど工夫していました。

浅沼さんの盲動犬のスーさんが、しっかり浅沼さんの歩いてほしいところを歩いていてすごいと思いました。

自分の気持ちを伝えることは、大事と気付きました。理由を説明すると、少しは納得してもらえるんだなと思いました。みんなの考えが聞けてよかったです。



人権集会では、目が見えない人や見えにくいことが障がいではなく、社会がそれに対応できていないことが障がいというお話を聞いて、すてきな考え方だと思いました。お話の中にあったエスコートゾーンを探しながら帰ったのですが、僕の通学路にはありませんでした。せっかくの工夫をもっといろいろなところに作ってほしいと思いました。

人権参観日では、「権利の熱気球」を学習して、人にはいろいろな考え方があると気付きました。人権集会では、目の見えない方はどこに何があるか分からないのでとても不安だと思いました。しかし、浅沼さんは、どんなところか分からない場所で講演会をしてくださいました。私も浅沼さんのように前向きな気持ちをもって、何事にもチャレンジしたいと思いました。

浅沼さんは、病気の治しようがないと言われても、希望をもって、病気と向き合い生活していることを知り、とてもすごいな、カッコいいなと思いました。エスコートゾーンやシャンプーのちょっとしたやさしさにとっても感動しました。この集会を通して、障がいも一つの個性として認めてもらえるような社会になってほしいと強く思いました。そのために、自分にできることを探していきたいと思います。

自転車部

6月28日(土)に、「交通安全子供自転車愛媛県大会」が行われました。

きっと部活に入るのはこれで最後だと考え、興味本位で入部しました。自転車部は、意外にも難しく、とても大変でした。安全走行も簡単ではなく、覚えることがたくさんありました。その中でも、私は筆記テストを頑張りました。その結果、総合9位になることができました。来年、自転車部に入りたい人に向け、練習のポイントを書きます。一つ目、あきらめないこと。二つ目、ポジティブな発言をすること。三つ目、全力でいつも楽しむことです。全国大会には行けなかったけど、自転車部として過ごした約2か月には思い出がぎゅっとつまっています。とても楽しく、全力になれた2か月でした。



カラー版をtetoru・HPにて配信しています。ぜひ、ご覧ください。